

學大科法學大國帝都京

# 叢論濟經

號六第 卷二第

## 論說

- 戰後ノ關稅團體ノ計畫
- 生死減少逆行ノ法則

## 研究

- 植民政策上ノ根本問題
- 本多利明ノ經濟說(三卷)

## 雜錄

- 不換紙幣流通ノ根據ニ就テ
- 在外正貨ノ處分ニ就テ
- 數トリ切手貼用法
- 全米貨幣統一案
- 獨逸<sup>ニ於テ</sup>工場衛生問題ノ研究
- 經濟雜話(三)
- 再ビ本多利明ノ著書ニ就テ
- 歐洲戰爭ノ經濟的說明
- 戰時戰後ノ佛國物價
- 香港政廳卜對獨貿易

法學博士 戶田 海市  
講 師 高田 保馬

法學博士 神戸 正雄  
講 師 本庄榮治郎

法學博士 戸田 海市

法學博士 神戸 正雄

教 授 財部 靜治

助教授 河田 嗣郎

助教授 山本美越乃

法學博士 田島 錦治

講 師 本庄榮治郎

法學博士 河上 肇

法學博士 小川郷太郎

法學博士 佐藤升次郎

# 研究

## 植民政策上ノ根本問題

法學博士 神戸 正雄

日本ハ世界ニ國ヲ成シツツ、進取ニ力ヲ用ユルカ、將タ退守ニ意ヲ注グカ。恐ラク日本ハ國ノ大方針トシテ進取ニ努力スルノ外アルマイト思フ。退守トハ臆ガテ退歩デアツテ、進ンデ取ラザレバ遂ニ自ラ持ツモノヲモ奪ハルルノ運命ヲ免レナイ。敢テ飽クナキノ慾望ヲ起セトイフノデハナク、又内ヲ忘レテ外ニノミ張レトイフノデモナイガ、益々其力ヲ養ヒツツ、其ニ相當シタル世界ノ分配ニ與レトイフノデアル。内其力ヲ充實シテ、外ニ向ツテモ之ニ相應シタル地步ヲ占メ行クノ心掛肝要デアアル。益々學術技藝ノ進歩ヲ計リ、産業經濟ノ發達ヲモ圖ルヘキデアルガ、其方餘レルダケデハ、其殖民地ニ、更ニ外國領域ニモ之ヲ伸バスコトヲ忘テハナラス。近代ノ殖民ハ固有ノ殖民地ノミナラズ、廣ク本國以外ノ地域ニ自國ノ勢力ヲ伸バスコトヲ計ルモノデ、此ニ商品ヲ賣付ケ、此ヨリシテ材料ヲ取り來リ、此ニ資本ヲ投下シ、此ニ企業ヲ起シ、此ト交通ヲ盛ニシ以テ經濟上ノ利益ヲ收ムル許リデナク、此ニ其學問文化ヲ植付ケ、軍隊上ノ訓練ヲ擔當シ、以テ

外國ヲ出來ルタケ廣ク自國化セントスルモノデアアル。日本モ亦タ益々其力ヲ養フテ此方向ニ進ムノ外アルマイ。

## 二

日本ハ現在、其固有ノ殖民地トシテハ、臺灣朝鮮樺太關東州ヲ有ツ。此ニ其勢力ヲ確立シ、之ヲ良ク統治シ利用スルコトモ植民政策上重要デアリ、其ノ成績ノ善惡ハ臆ガテ日本ガ外國領域ニモ勢力ヲ伸張シ、更ニハ其殖民地ヲ擴張スルコトヲ、世界ガ承認スルヤ否ヤノ分ルル所デアルカラ、現在ノ殖民地ノ利用ニ就キ一段ノ工夫ヲ要スルト思フガ、其ノ日本ガ是ヨリ勢力ヲ伸バスヘキ外國領域ハ何處ゾトイヘバ、第一ガ支那、第二ガ南洋デアアル。北進論トイヒ南進論トイフテ爭テ居ルガ、北進ハ樺太ノ北半、西伯利亞アルノミデ、其經濟上ノ價值知ルベシデアアル。デ實際ハ西進シテ支那ニ往クカ、南進シテ南洋ニ出ヅルノ外ニハ、日本發展ノ好方向ハナイ。而シテ其支那ヲ第一トスルノハ、經濟上ヨリイフモ支那ガ日本ニ最近ク、此トノ地理的關係ニ於テ日本ガ歐米諸國ヨリモ一層有利デアリ、言語風俗等ノ點ニ於テ日本人ノ方ガ西洋人ヨリモ支那人ヲ理解シ易ク、且ツ日本ニハ支那ヨリモ一步進ンダル工業技術及其經營ガ存シテ、而モ支那ノ需要程度カラシテハ日本品ノ方ガ歐米品ヨリモ一層適當スル所以ノモノノアルニ於テハ、日本産品特ニ工業品ノ販路トシテ支那ハ過去ニ於テモ重要デアツタガ、將來ニハ一層有望ト考エラルル。原料及多少ハ食料品ニツイテモ、支那ハ日本ニ之ヲ供給スルニ最便利ナル地位ニ在ル。而シテ日本ガ益々之ヲ輸入シ來ルノハ、其ノ工業ヲ運轉スル爲メニモ又、支那ノ日本品購買力ヲ養フカ爲メニモ缺ク

ヘカラサルノ干係ニアル。其原料ノ第一ノモノトシテハ鐵ヲ推スヘク、鐵ニ至テハ日本ノ工業維持ノ上カラモ軍事上ノ觀察點カラシテモ是非輸入シ來ルヘキモノデ、之ガ爲メニハ多大ナル犠牲ヲモ辭スルコトヲ得ナイ干係ニアル。棉花ノ如キモ現在ノ日本ノ輸入金額ニ於テ第一位ヲ占ムル程デ、之ニヨリ日本特産ノ生糸(註二)ト相待ツテ、日本ノ最重要工業タル纖維工業ヲ成立タシテ居ル所デアルガ、此モ將來日本人ノ研究及努力ニヨツテハ尙ホ多ク支那カラ仰クコトガ出來ルヤウニナルデアラウシ、其ニヨツテ以テ現在ノ如ク遠隔シタル而モ英國トイフ強國ニ屬スル土地タル印度ヨリ多ク輸入スルノ危険ヲ緩メナケレバナラス。其他此等ト關聯シテ支那ニ各種ノ企業ヲ起スコトモ出來ヤウシ、而カモ此等ノ經濟上ノ利益ハ日本トシテ其東亞ニ於テ最有利ナル事情ニアル所ノ陸軍ヲ以テ、海軍ノ後援ニヨリ十分保護スルコトガ出來ル。既ニ南洋トナルト、我トノ經濟關係ニ於テ支那ヨリモ劣ル許リデナク、特ニ其ニ於ケル我利益ノ軍事上ノ保護ニ於テ不十分タルヲ免レナイ。此ニテハ日本ノ最有利トスル陸軍ヲ使用スルコトガ少クテ、却ツテ多少日本ノ不利トスル海軍ヲ主トシテ用キテ、而カモ英米佛蘭等ノ諸國ニ當ラナケレバナラナクナル。支那ニテモ日本ガ此ニ經濟上ノ勢力ヲ伸バズニ於テ、之ト抗爭セントスル歐米勢力ハアルガ、支那ニハ南洋ノ如ク現ニ此ニ其政治上ノ地位ノ確立シタルモノハナイカラ、其反對スル所ノ抵抗力ハ比較的薄弱ナルコトヲ得ル。支那ニ於テハ日本ハ其勢力ヲ張ル爲メニ全刀ヲ注カナケレバナラナイシ、又之ニ於テ成功スルコトノ容易ナル望モアル。特ニ今回ノ戰爭ニテ此點ニツキ益々日本ノ取リ有利トナツタト思フ。併シ南洋新占領諸島ノ如ク經濟上ノ價值小デアリ、假令多少軍事上ノ價值ハ

アツテモ、他諸強國トノ關係ヲ不良トシ、軍事上ノ負擔ヲ過大トスルノ恐アル處ハ、之ガ領有ヲ力爭スル程ノ必用ナシト考フル。

## 三

近代ノ殖民ガ廣ク外國領域ニ勢力ヲ伸バスコトヲ意味シ、一國ノ國力充實スルニ於テハ之ヲ外ニ向ツテ擴張スルヲ得又而カスヘキモノデモアリ、日本トシテモ斯ノ如キ發展ニ恰好ノ外國領域ヲ有ツ所デアアルコトハ上説ノ如クデアアルガ、其カ圓滿ニ行ハルルノニハ、先ツ其現在ノ植民地ヲ完全ニ統治シテ、日本ガ殖民國民トシテ他民族在住地ヲ支配シ利用スルニ足ルノ能力ヲ有ツコトヲ實證シナケレバナラス。然ラバ日本ハ此ニ於テ今日迄好成绩ヲ示シタカトイフト、見様ニヨツテハ大過ナカリシトカ、豫想以上ニ良カツタトモイハルルガ、併シ他面カラ見レバ決シテ満足スヘキモノトモ評スルヲ得ナイ。何人ガ見テモ好成绩トイフヘキハ衛生ト交通トデアアル。特ニ臺灣ノ衛生、朝鮮ノ交通ハ賞讃ニ値スル。ガ臺灣ノ建築ニ至テハ一體ニ過麗デアアルノ非難ヲ免レナイ。統治上ノ必要モ多少ハアラウガ、其必要ナキ處ニモ然ルニ至テハ怒スルコトヲ得ヌ。交通ハ經濟上ニモ軍事上ニモ重要ナルモノユヘ植民地ニ於テ之カ普及及完全ニ方ヲ用ユルノハ當ヲ得テ居ル。臺灣ノ軌道手押車ノ發達ニ至テハ豫想以上デ、交通頻繁ナラザル田舎地方ニハ恰好ノ交通機關デアアル。臺灣ノ衛生ニ力ヲ用キタルコトモ、熱帶殖民ノ第一問題ヲ解決シタモノデ、先ツ以テ成功トイフテ良イ。其他ノ方面ニ至テハ相當ノ仕事ガ爲サレツツアリ、當局者ノ苦心ヲ無視スルコトハ出來ナイガ、尙ホ不満足ナルモノノ多キコトハ爭フコトヲ得ナイ。敢テ下ニ其ニツキ予ノ

見ル所ヲ述ヘヤウ。

#### 四

植民政策上ノ第一ノ問題ハ利益ノ主體デアル。植民地ヲ何人ノ利益ヲ計ル爲メニ利用スルカトイフコトデアル。此ガ定マラナイト、植民政策ハ確立シナイデ、當局者ノ恣意及私利ノ爲メニ良イ加減ノ事ヲスルコトトナル。從來日本ノ植民地特ニ臺灣ニ於テ果シテ之ニツキ確固タル大方針ガ定マツテ居タカ、假令多少アツタニシテモ其カ適當デアツタカハ疑問デアル。デ敢テ之ヲ細説シ批評シテ見ヤウト思フ。第一點ハ植民地ヲ本國人ノ爲メニスルカ、土民又ハ外國人ノ爲メニスルカトイフコトデアル。本國ノ國民ハ此植民地ヲ獲得スルニツキ、又之ヲ維持スルニツキ特段ナル負擔、詳シクイヘバ血稅財稅ヲ從來負ヒ又負ヒツツアル所ユヘ、主トシテ其利益ヲ計ルコト當然デアル。假令近代ノ植民地ニテハ表面ニ機會均等主義ヲ建テツツアリトハイヘ、實際ノ手加減ニテ本國民ノ利益ヲ中心トシテ居ル。徒ラニ慈善心ヲ起シテ土民及外國人ノ利益ヲ計ルニハ及バナイ。但ダ之ガ埋合セトシテハ他方ニ此植民地ヲ利用シテ世界ノ文化ニ貢獻スルコトヲ計ルヘキデアル。即チ其各地ニ於ケル地理地質氣象動植物人類社會歴史醫藥等ヲ研究シテ、之ヲ世界ニ紹介スルノ事業ノ爲メニ金ヲ投シハラウケナケレバナラス。若モ此方面ニ於ケル世界文化上ノ貢獻ガ大デアラナラバ、植民競争者タル他ノ強國ヲシテ、日本ハ日本ノ自利ノミノ爲メニ植民地統治ヲ爲スノデハナクテ、世界文化ノ爲メニ行フモノトシテ、多少其嫉視ヲ緩メシムルコトガ出來、現在ノ植民地ノ維持ニツイテモ將來ノ勢力範圍ノ擴張ニツイテモ大ナル故障ナキコトヲ得ルデア

ラウ。然ルニ遺憾ナガラ日本ノ植民政策デハ此カ未ダ重キヲ置カレテ居ラス。短見トイフヘキデアル。宜シク此ニ着手シナケレバナラス。今日台灣ニモ試験所ハアリ、其建物ハ兎モ角立派デア  
ルガ、何分ニモ從事スル技師ガ少數デアリ、其専門モ極メテ狭イカラ、到底右ノ如キ希望ヲ達ス  
ルニハ足ラナイ。又台灣ノ如ク熱イ處ハ微細ナル科學的研究ニ適當ノ地トイフコトヲ得ナイ。宜  
シク内地ニ其研究所ノ本據ヲ置イテ、台灣ニハ出張所ヲ設ケ、互ニ聯絡ヲ取ツテ行ク方が成績ガ  
擧ガルト思フ。

第二點トシテハ植民地ヲ特ニ本國人ノ利益ノ爲メニ利用スルトシテ、大資本家ヲシテ利用セシ  
ムルコトニ重キヲ置クガ、小資本家ノ利用スルノヲ助長スルカトイフコトガ問題デアアル。生産政  
策ヨリシテハ前者ヲ採ルヘク、社會政策カラハ後者ニ據ルヘキコトトナル。從來ハ大資本家ノ爲  
メニ多ク利用セシメタ傾ガ大キイ。特ニ台灣ニ於テハ著シイ。少クトモ少數人ニ利用サセテ大資  
本ヲ作ルコトヲ得セシメタノデアアル。此ハ台灣ナリ植民地ノ開發ヲ迅速ナラシムルニハ確カニ有  
効デアツタ。併シ公平ニハ反スル。社會政策上カライヘバ寧ロ中小資本家ヲ助成スルコトヲ計ラ  
ナケレバナラス。彼等ヲ一人一人助クルガ如キハ政府トシテ固ヨリ煩ニ堪エナイ。又各箇人トシ  
テハ弱キモノデアリ信用スルニモ足ラヌデアラウガ、其ヲシテ組合ヲ成サシムルニ於テ、力強ク  
信スルニ足ルモノトナル。政府ハ彼等ヲシテ斯カル組合ヲ成サシムルヤウニ獎勵シ誘導シテ、其  
組合作業ニ便利ヲ與フルコトニ力ヲ用キナケレバナラス。少數大資本家ヲ相手トスル場合ヨリハ  
面倒デハアルガ、國家トシテハ義務デアアル。國家ノ特別助成ナクトモ優ニ自ラ進ミ得ル大資本家

ヨリハ、其特別助成ナクテハ進ムコトノ困難ナル小資本家ヲ助ケテ發展ノ道ヲ得セシムルコトハ國家ノ重大ナル任務デアアル。勿論日本人ニハ組合事業ノ訓練ガ不十分デ、内地デモ必スシモ之ニツキ好成绩ヲ示セリトイヘナイ程デアアルカラ、此事業ガ輕易ナコトトハイハレナイ。ガ國家トシテハ當然助成スヘキモノデアアル。

第三點トシテ植民ニツイテハ、多少ハ本國人ヲ植民地ニ移スコトトナルデアラウガ、其ニツキ精神的勞働者ヲ多ク移スコトトスルカ、肉體的勞働者ヲ多ク移スコトトスルカガ問題デアアル。ガ此ハ内地ニテモ過剩ヲ感ズルモノハ寧ロ前者デアアルノ故ニ之ヲ移スヘキノミナラズ、特ニ下級ノ肉體勞働者トシテハ土民ノ方カ内地人ヨリモ概シテ優レタルノ故ニモ左様ニスル外ハナイ。(註二)

## 五

第二ニハ植民地利用ノ方法若クハ其ニ起スヘク獎勵スヘキ産業ノ種類如何ノ問題デアアル。之ニツイテハ根本的ニ各植民地相互ノ間並ニ本國トノ間ニ、産業上ノ統一方針ヲ立テテ、重復衝突ノナイヤウニシ、各最適當ナル産業ヲ以テ利用スルコトヲ計ラナケレバナラス。各植民地ニテノ産業獎勵カ如何ニ有功デアツテモ、此統一聯絡ナキ場合ニハ其政策ノ價值ハ大ニ減スル譯デアアル。然ルニ今ノ日本ノ植民政策ニハ此統一聯絡カナク、各地勝手ノコトヲ爲シツツアルノ嘆ガアル。之ヲ整理按排シナケレバナラス。例之第一點トシテ鹽ノ如キハ其生産費ノ低廉カライヘバ關東州第一、臺灣之ニ次キ、朝鮮更ラニ之ニ次キ、内地最不廉デアアルカラ、前者ノ鹽田ヲ擴張セシメテ内地ノ鹽田ヲ整理スルコトトスル外ハナイ。即チ關東州臺灣カラ内地ノ必要トスル鹽ヲ供給セシ



メルノ外ハナイ。又其鹽田ガ擴張ノ餘地モアリ、他方ニハ其鹽ガ工業用ニ適當スルナドモ一層好都合デアアル。或ハ鹽ノ如キ國民生活上一日モ缺クヘカラザルモノヲ内地ニテ十分ニ産出シナイコトハ、一朝有事ノ日ニ危險ナリトモイフガ、關東洲ナリ臺灣ナリヨリ内地ニ鹽ヲ持來ルコトガ困難トナル程ノ時ハ、本國自身ノ危機デアアル。本國ト大ニ離レタル殖民地ニテ産スル必需品ニ關スル理論ヲ此ニ當ツル譯ニハ行カナイ。

第二點トシテ米ニツイテハ内地ノ不足ハ主トシテハ朝鮮ニ仰クヘキデ、朝鮮米ナレバ内地米ト品質ガ異ラス。臺灣米ニナルト、臺中米ノ外ハ概シテ品質ガ内地米ニ代ルヘキ資格ヲ缺ク。將來改良スレバ品質ガ内地米ニ近クデアラウトモイフガ、氣候風土ノ加減デ到底見込ナシトイフ方カ正シカラウ。唯タ增收ノ餘地ハ大デアリ、隨テ内地ノ不足米ヲ充タス印度米等ノ代用品トシテハ有望デアアル。

第三點デ臺灣ノ砂糖、朝鮮ノ綿花、滿州ノ大豆等ハ各獨特ノ産物デ、各地ノ特色ヲ發揮スル所デアアル。朝鮮ニ砂糖ヲ進メ、臺灣ニ綿花ヲ奨ムルノハ有利デハナイ。臺灣ノ砂糖ハ尙ホ改良ノ餘地ガ多ク、益々其生産費ヲ低廉ナラシムル工夫ヲ爲サナケレバナナルマイ。(註三)今年少シク好況ナリトテ濫リニ配當ヲ多クシ、後圖ヲ忽ニスル現在ノ糖業會社ノ經營ハ決シテ當ヲ得タルモノデナイ。臺灣ノ木材ニ至テハ其産額無限ナリト想像スルハ誤デアリ、今ノ調子デ伐採シ行クト、如何ニ臺灣ハ内地ヨリモ木ノ成長ガ早イトハイヘ、木材ノ缺乏ヲ嘆ズルノ期ヲ見ナケレバナヌ。又水害ノ危險モ大ナラザルヲ得ヌ。

第四點ニ於テ殖民地ニハ專ラ原料食料ヲ産出セシメテ、工産物ハ凡テ之ヲ母國ニ仰カシムルコトトスルカ何ウカトイフ問題ガアル。大體ニ於テハ殖民地ニハ原料及食料品ヲ産出セシメテ、其必要トスル工産物ハ母國ニ仰カシムルノガ適當デアラウ。特ニ熱帶的ナル臺灣ノ如キニハ原料及食料品ノ産出ガ適當デアリ、工場工業ハ適當シナイ。併シ殖民地デモ其産出スル原料ノ第一次粗加工業、例之臺灣ノ精糖、朝鮮ノ綿線製鐵ノ如キハ避クルコトヲ得マイシ、更ニハ臺灣ニ於テ臺灣土民並ニ支那人ノ日常需要ノ工業品ノ製作事業ヲ發達セシムルガ如キモ適當デアラウ。現在ハ臺灣デハ多ク支那カラ此種ノモノヲ輸入シテ居ル。是非臺灣デ供給スルコトニナラナケレバナラス。日本ノ内地ニテ作ルコトモ出來ヤウガ、需要地ニ近キ臺灣ニテ作ル方ガ需要ニ適合スルコトガ出來ヤウ。臺灣ハ此等ノ工業ヲ營ムニツキ支那ニ比シ賃金ノ高キヲ苦シムトイフガ、其ノ不利ハ機械ノ力ヲ借ルカ金融ノ利便ヲ開クコトニヨツテ補足スルコトガ出來ヤウ。

## 六

斯クノ如クニ殖民地ノ利用方法及利益ノ主體ハ定マリタリトシテ、第三ニハ土民ノ統治問題ガ殘ツテ居ル。此ハ實ハ殖民ノ目的デハナク、單ニ手段ニ過ギナイガ、併シ此方ガ甘ク往カナケレバ、之ガ利用ノ目的ヲ達スルヲ得ナイコトニモナル。隨テ此事業ヲ等閑ニシテハナラス。之ニツイテハ第一番ニ土民ヲ日本ニ同化サスルコトニ最力ヲ用ユヘキデアアル。而シテ彼等ハ樺太ノ少數ノヲ除イテハ、支那人トイヒ朝鮮人トイヒ何レモ日本人ニ近キ人種デ、舊日本人ノ血ノ中ニ既ニ此等ノ人種ノ血ガ入ツテ居ル程ユヘ、大シテ此事業ガ困難トイフコトハナイ。此ガ同化セラレテ内

地人ト土民トノ間ニ殆ンド區別ナキニ至レハ、統治、甚ダ容易トナル。是非トモ此同化ニカヲ用  
 キナケレバナラス。而シテ此同化ニハ先ツ以テ一方統治者タリ指導者タル内地人自身ヲ改良スル  
 コトガ肝要テアル。從來殖民地ニ往ク者ハ孰レノ方面デモ概シテ不良劣等者デ、而カモ永住ノ精  
 神乏シク、小金デモ出來レバ早ク内地ニ歸ラウトイフガ如キ心掛デアルカラ、自ラ仕事ニ誠意熱心  
 ヲ缺キ、爲メニ被治者ヨリ威服セラルルコトハアツテモ、心服サルルコトトハナラズ、隨テハ我  
 ニ同化セシムルコトガ出來ナカジタ。少クトモ同化ノ實ノ舉ガルコトガ遲緩デアツタ。デ將來ハ  
 益々植民地官吏ノ入選ヲ吟味スルコトガ肝要ト思フガ、斯ク内地人ニ永住ノ念慮ノ乏シキニハ婦  
 人ノ心掛ノ足ラザルニモ因ルコトガ多イカラ、此方ノ教育上ノ注意ヲ望マナケレバナラス。他方  
 土民ニ對シテハ特ニ言語風俗生活方法ヲ日本化サスルコトガ肝要デアル。就中言語ノ日本化ガ最  
 肝要デ、此ガ日本化シナイヤウデハ、彼等ノ思想感情ガ日本のトナルコトハ出來ナイ。言語ガ日本  
 化シタカラ直チニ其思想感情ガ日本人的トナツタトハ必ズシモイヘナイガ、言語ガ日本化スレバ  
 餘程其氣分ヲ日本のナラシムルコトガ出來ル。英語ヲ學ンダ日本人カ英國最負トナリ、獨逸語ニ  
 慣レタ者ガ獨逸崇拜ニナリ、佛蘭西通ガ佛蘭西辯護トナルノト同様デアル。此言語ヲ以テ彼等ヲ  
 日本化スルノニハ、小學校程度ノ土民學校ヲ普及シテ、其處デ最モ多ク此言語教育ニカヲ用ユベ  
 キデアル。此事業ガ未ダ此迄ハ十分ニ行ハレテ居ラナイ。何時マデモ土民ヲ愚ニシテ置イテ同化  
 セシメザルヨリハ、之ニ相當ノ智識隨テ理解ヲ與エテ同化セシムル方ガ得策デアル。又此土民教  
 育上ニハ其女子教育ニ一層力ヲ用ヰナケレバナラス。男子ハ職業上ノ必要モアルカラ内地語ヲ習

ヒ内地人ニ同化シヤウトスルケレトモ、女子ハ從來内ニアツテ其必要ヲ感ゼズ、隨テ内地語ヲ習ハズ、斯クテ男子ノ同化セントスルノヲ牽制スルコトトナル傾ガアツタ。又兒童ノ家庭教育ニモ當ル女子ノコトデアルカラ、此方カラノ影響モアリ、旁々同化ガ邪魔サレテ居ツタ。デ此女子教育ヲ振興シナケレバナラス。

第二點トシテ同化政策以外ニモ、統治上宗教及教育ニツイテ爲スベキモノガアル。即チ内地人ニ於テ彼等土民ノ宗教ヲ研究シ且ツ之ヲ尊重シテ、之ヲシテ統治ノ妨害トナラシメザルヤウ利導スルコトガ肝要デアアル。彼等ノ宗教ガ諸宗混合ノ劣等ナル迷信也トシテ輕視シテハナラス。内地人ノ間ニモ此ト甲乙ナキ迷信ガ頗ル盛デ、上流社會ノ間ニモ存スルコトヲ忘レテハナラス。宗教ハ人ニ異常ナル力ヲ與フルモノデアルカラ、政治ハ之ヲ利用スルコトヲ努ムヘク、之ヨリ妨害ヲ受ケナイヤウ注意シナケレバナラス。彼等ノ宗教ト内地人ノト同一トナルコトハ望マシイガ、此方ノ一致ハ最モ困難デ、一朝一夕ニハ望メナイ。此ニツイテハ氣永ク掛ラナケレバナラス。又教育ニツキテ小學校教育ノミナラズ、職業教育(註四)ヲモ施シテ、彼等ニ衣食ノ道ヲ授クルコトモ、統治上有益デアアル。衣食足ツテ禮節ヲ知ルカラ、職業ヲ得ルニ都合良クシテヤルコトガ彼等ヲ安靜ナラシムル所以デアアル。但シ過度教育特ニ政法教育ハ土民ニ向テハ慎重ニススベキモノデアアル。

第三點ニハ土民ト本國人トノ間ニ待遇ヲ異ニスル、即チ土民ニハ吏員トナル上ニ制限ヲ置キ、又參政權ヲモ與エナイ。此ハ不公平也トイフ不平等ガ土民間ニアツテ、統治上ニモ不良ノヤウデア  
ルガ、彼等ガ同化セザルコト現狀ノ儘デハ致方モナイ。日本人タル氣分ニナツテ居ラヌ者ニ參政

權ヲ與ヘテハ、國ノ政治ヲ紊ルコトトナル危險ガアル。斷ジテ參政權ヲ與エテハナラナイ。尤モ朝鮮デハ歴史上ノ關係モアリ、土民ヨリ成ル所ノ高等諮問機關ガアルガ、其實權ハ薄弱ナモノデアアル。但シ地方行政ニハ今ヨリモ一層ノ程度ニテノ參政權ヲ與ヘテ、中央ニ對スル不平ヲ地方ニ向ケシムルノモ強チ不得策デハアルマイ。土民ヲ官吏トスルコトニ就テハ朝鮮ト臺灣トデ方針カ異リ、臺灣ノ方デハ餘程制限シテ居ルガ、此モ時ノ進ムニ伴レ段段緩ムル外アルマジク、又サシテ危險モナクナルト思ハルル。所詮ハ同化不充分ナル間ハ斯カル制限已ムヲ得ズトイハナケレバナラス。彼等ニ不平ガアツテモ、日本人トイフ氣分ガ全體ニ行亘ラナイ以上ハ、何トシテモ對等ニ扱フコトハ出來ナイ。箇箇ノ土民ニ然ル氣分ガアツテモ、大多數ノ土民ニ然ル氣分ガ充分ニナラナイ以上ハ、此制限ヲ解クコトニ躊躇シナケレバナラス。彼等ニシテ對等ノ待遇ヲ受ケヤウトスルナラバ、速カニ其同胞ヲ日本ニ同化サスルヤウニ努力スヘキデアアル。彼等ガ動モスレハ内地人ヲ嫌ヒ、間々内地人ヲ排斥シテ歐米人ニ親マントスルノデアアルガ、大勢カライフト日本ニ從屬スルノ外ナキ事情ニアツテ、而モ彼等モ日本ニ就イタ方ガ、歐米ニ就イタ場合ヨリモ一層地位ノ高キコトガ出來、加之彼等ガ日本人トナルコトハ人種關係上容易デアアルガ、歐米人トナルコトハ困難デアリ、日本ニ就イテ居レバ、遂ニハ同化シテ全ク對等ノ待遇ヲ受クルコトトナルノ機ガアルノニ、歐米人ニ就イテ居レバ永ク此機ヲ失フコトトナルノ外ハナイ。又將來トモ黃白人種戰爭ノ盛ニナル勢ガアツテ、幸ニシテ日本ガ黃人種國中頭角ヲ顯ハシテ居ルニツイテハ、支那朝鮮人等ハ此日本人ノ活動ヲ妨害スルヨリハ助成スル方ガ、彼等自身ノ永遠ノ利益トナル。之ヲ是レ悟ラザ

ルノハ愚トイフヘシデアアル。而シテ彼等ニシテ日本ニ同化シ終リテ内地人トノ區別ノ殆ンドナクナル場合ハ即チ彼等ニ對スル特別待遇ヲ撤廢スヘキ時デアリ、又其同化ノ程度ニ應ジテ徐徐ニ此待遇ヲ改良スルコトトモスヘキデアアル。一體現在ノ日本内地人ノ中ニハ既ニ支那人ノ血モ朝鮮人ノ血モ混ツテ居ル。其ガ今日ハ既ニ全ク同化セラレテ日本人共通ノ思想感情ヲ有ツコトニナツテ居ル。其ト同様ニ臺灣ヤ朝鮮等ノ土民デモ何時カハ日本人ニ全ク同化スルコトトナルデアラウ。又斯クナラシムルコトガ内地人ノ爲メニモ土民ノ爲メニモ幸福デアツテ、隨テお互ニ此方向ニ導クコトヲ努メナケレバナラス。

第四點トシテ從來ノ殖民地統治ニハ軍人總督制ガ行ハレ、隨テ威壓政治トナツテ同化政策ガ長ク行ハレナイ憾ガアル。宜シク文官政治ニ更メヨトノ論モアルガ、現在ノ如ク大體同化シ居ラザル土民ヲ統治スルカ爲メニモ、又外國ニ對スル本國々防ノ第一線タル處ヲ守ルトイフ點カラモ軍人政治己ムヲ得ズト思フ。唯ダ其主腦タル軍人ノ適任者ヲ得ルコトヲ望メバ宜シイ。軍人が主腦者ニナツタカラトテ、必スシモ威壓政策ノミ行ハルルモノトハ限ラナイ。唯ダ威壓モ必要デハアルガ他方ニ同化ニ向ツテ一層ノ努力ヲ致サレンコトガ望マシイ。夫ノ臺灣ノ蕃人ニ對スル政策ノ如キモ、氣ヲ永ク持ツテ、之ヲ同化スル手段ヲ講ズルコトガ最肝要ト信ズル。

## 七

以上日本ノ殖民政策ニツキ、特ニ予ガ最近目撃シタル臺灣ニ特段ナル考慮ヲ拂ツテ論述シタガ、此政策ノ大方針ヲ樹立シ、且ツ特ニ各殖民地ノ施政ニ統一聯絡ヲ與フル爲メニ殖民省ヲ作レトノ

議ヲ開クニツイテ、更ニ終リニ此點ヲ一考スルノニ、由來日本デハ官省倒レノ傾ガ大イ。殖民省ノ如キハ無用ト思フ。殖民省ヲ置イタトテ、果シテ此目的ガ完全ニ達セラルルヤ疑ハシイ。之ナクトモ政治ノ責任者タル内閣ガ斯カル大方針ヲ定メ聯絡統一ヲ保ツヘキデアアル。從來ノ内閣之ヲ爲サザリシトセバ曠職ノ責ヲ免レス。此曠職ガ看過サレ居ルトスレバ、其ハ國民ノ罪デ自業自得デアアル。内閣ノ方針ハ其更迭ト共ニ變更スルカモ知レス。隨テ殖民政策ノ動搖ヲ生ズル、其レデハ困ルトイフガ、其點カライフナラバ殖民省ガ出來テモ同事デ、殖民省ノ主腦者ナルモノガ矢張り内閣ノ更迭ト共ニ變更シテ、隨テ其政策ニ變化ヲ見ルコトアルヲ免レス。殖民政策ノ大方針ノ鞏固不動トナルカ否カ、其聯絡統一ノ保タレタルモノタルヲ得ルカ否カハ、結局ハ最後ニ控ヘタル國民ノ意思ニ係ルノデアアル。

(註一) 日本ノ生糸ノ世界的地位ヲ確保シ伸張スル爲メニハ、世界中第二位ノ生糸供給國タル支那ノ生糸ノ生産及特ニ販賣權ヲ日本人ノ手ニ收メルコトカ肝要デアアル、日本ノ重要輸出工業タル生糸工業ノ爲メニモ支那問題ノ緊要ナルコトヲ志レテハナラヌ。

(註二) 内地人が肉體勞働者トシテ朝鮮及支那人ニ勝ルノハ漁業者ニ於テ最著シイ。其他ニ於テハ監督者トシテ適任デアアル。

(註三) 臺灣ノ砂糖ニ關シテハ、砂糖消費稅ヲ臺灣ニ與ヘヨトノ問題ガアル。此ニハ歴史的關係モアルトイフコトデアアルガ、予ノ希望トシテハ其一部ヲ臺灣ニ與エテ、臺灣ヲシテ砂糖研究ヲ今一層盛ニシテ、其生産費ヲ大ニ減少セシムルコトヲ奨ムル。

(註四) 特ニ臺灣土民タル支那人ハ最も多ク商人タル素質ヲ備ユタルモノユヘ、之ニ商業教育ヲ多ク與エルコトハ、饜テ彼等ヲシテ臺灣ノ經濟上ノ發達ニ貢獻セシムル所以デアアル。然ルニ恰カモ同地ニテ商業教育ヲ缺クノハ不備トイハナケレバナラヌ。